

史学科

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

史学科は、歴史学と、それに関連する分野（地理学・宗教学・博物館学）を学ぶ学科である。専門の学びを通じて論理的な考察力を養い、専門知識と思考力を活かして社会で活躍できる人物を育成することを目指している。

本学科が求める学生像は、以下のとおりである。

【求める学生像】

- ・歴史や歴史的資料（史料）へ強い関心を持ち、深く学びたいという意欲のある人
- ・歴史的背景を踏まえて異文化や国際問題を理解する意欲のある人
- ・知的好奇心と探究心を持ち、主体的に学修や研究に取り組む意欲のある人
- ・人間とは何であるかを言語・文学・文化・歴史を通して学ぶ意欲のある人
- ・文学や文化的・歴史的遺産を通して自分の生き方を考え、自己実現を達成する意欲のある人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・国語と英語の適切な運用能力
- ・日本史もしくは世界史における十分な知識
- ・テーマにそって資料を調べ、考察し、自分の言葉で表現する基礎的な能力

上記の学力を身につけているかを判定する入学者選抜試験を以下の基本方針で行う。

(1) 一般選抜

一般選抜では、各入試区分で課している科目における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力も加味しながら判定する。

・一般選抜（個別選抜型）

筆記試験により、特に国語や外国語（英語）、地理歴史（日本史もしくは世界史）における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力も加味しながら判定する。

・一般選抜（英語外部試験利用型）

英語外部試験を利用して英語の4技能をバランスよく十分に修得しているかを判定する。さらに、筆記試験により、国語と地理歴史（日本史もしくは世界史）における基礎的な知識

を身につけているかを、思考力および表現力も加味しながら判定する。

- ・一般選抜（大学入学共通テスト利用型前期）

大学入学共通テストの国語、外国語、地理歴史（世界史または日本史）の3科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

- ・一般選抜（大学入学共通テスト利用型後期）

大学入学共通テスト利用型前期と同じ方法で判定する。

(2) 総合型選抜

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題および学科別課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考の口述試験にてコミュニケーション力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

(3) 学校推薦型選抜

高等学校等学校長によって推薦された人は、高校までに身につけるべき基礎的な学力を有していると判断する。さらに、出願書類と面接試験（口述試験）によって、学修や研究への意欲、自分の考えを表現する力、コミュニケーション力および協働性を総合的に判定する。

- ・学校推薦型選抜（附属高等学校推薦）

日本女子大学附属高等学校長が推薦する人を対象に、出願書類と面接試験によって総合的に判定する。

- ・学校推薦型選抜（連携校）

本学科が指定する高等学校（連携校）の学校長が推薦する人を対象に、出願書類と口述試験によって総合的に判定する。

- ・学校推薦型選抜（公募制）

高等学校長が推薦する人を対象に、小論文によって論理的な思考力と表現力を判定し、口述試験によってコミュニケーション力、表現力および他者と議論する力を審査し、出願書類も合わせて総合的に判定する。

(4) 外国人留学生

日本留学試験の日本語、総合科目の 2 科目の試験によって、十分な基礎学力を有しているかを判定する。出願書類および小論文と口述試験によって、学修意欲、主体性、日本語能力、コミュニケーション能力、他者と議論する力、および歴史に関する基礎的な知識を有しているかを審査し、総合的に判定する。

(5) 編入学・学士入学

大学・短期大学・高等専門学校を卒業した人（見込みを含む）や他大学在学中の人を対象に、歴史学の筆記試験を行い、大学 2 年次もしくは 3 年次に相当する専門的な知識を有しているかを審査する。出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、コミュニケーション能力、他者と議論する力、および歴史に関する基礎的な知識を有しているかを審査し、総合的に判定する。

(6) 社会人

小論文によって論理的な思考力と表現力を判定し、出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、コミュニケーション能力、他者と議論する力、および歴史に関する基礎的な知識を有しているかを審査し、総合的に判定する。